

個別業績予想の概要(対前年同期比較)

平成26年3月期第2四半期(累計)の収支見通しにつきましては、収入面では、販売電力量の減少はありますが、電気料金の値上げや再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などにより、売上高は増収となる見通しであります。

支出面では、泊発電所3号機の停止日数の増加による燃料費の増加などがありますが、人件費削減などの効率化に努めることに加え、海外炭火力発電所の稼働増による燃料費の減少などにより、経常損益は、前年同期に比べ損失幅が縮小する見通しであります。

以上により、第2四半期(累計)の売上高は2,790億円程度となり、営業損益は340億円程度の損失、経常損益は410億円程度の損失となる見通しであります。

また、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴い、繰延税金資産の計上額を法人税等調整額に計上することなどにより、四半期純損益は、前年同期に比べ損失幅が縮小し20億円程度の損失となる見通しであります。

(億円)

| | 26年3月期第2四半期(累計) 見通し ① | 25年3月期第2四半期(累計) 実績 ② | 増 減 ①-② |
|-------------|--------------------------|-------------------------|------------|
| 売 上 高 | 2,790 | 2,682 | 110 |
| 営 業 損 益 | △ 340 | △ 403 | 70 |
| 経 常 損 益 | △ 410 | △ 489 | 80 |
| 四 半 期 純 損 益 | △ 20 | △ 482 | 460 |

【経常損益の変動要因】

(億円程度)

| 好 転 要 因 | 悪 化 要 因 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 海外炭火力稼働増による燃料費の減 160 ■ 水力発電量の増加による燃料費の減 50 ■ 人件費の減 (給料手当の削減など) 40 ■ 電気料金の値上げによる増収 10 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 泊発電所停止影響 90 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費の増 100 ・原子力バックエンド費用の減 △10 ■ その他 90 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕費の増 50 (火力発電所の定期検査基数の増加など) など |
| 差し引き 80億円程度 好転 | |

【四半期純損益の変動要因】

(億円程度)

| 好 転 要 因 | 悪 化 要 因 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 経常損益の好転 80 ■ 繰延税金資産の計上 410 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 湯水準備金の引当 30 |
| 差し引き 460億円程度 好転 | |